



自らチエルノブイリ人になってしまった。他の民族とは違った、別の特殊な民族になってしまったかのようです。人類の知識が蓄積されてきたわけですが、そこにいた人々は、他の人々と同じような生き方ができない。たまたま、原発の近くに住んでいて、風が吹いて、汚染されてしまったという、それだけのことなんですね。例えば、飛行を記録しているブラックボックスと同じように、ベラルーシ国民は、チエルノブイリの実験場で起こっていることに自分たちの身体で記録して協力している。そういうことをいう人もいます。

悲しいと言われています。たくさんの人々は、自分の飼っていた犬やネコの名前を書き残していきました。兵士がそれらの動物を射殺していったのです。ネコや犬の共同墓地があります。人間はそれだけのことをする価値を果たして持っているのでしょうか。それは大きな問題です。チエルノブイリという実験場であって、ベラルーシ人は

二つの破局が同時に重なりました。チエルノブイリ事故とソ連邦の崩壊です。社会主義の権威、ソ連が崩壊し、ベラルーシは独立しました。ベラルーシは、ずっと他国に従属してきたという歴史があります。独裁的な体制に

なっていました。ルカシエンコ大統領の下で、チエルノブイリの真実を究明するために、たくさんの方々が研究しています。彼ら個人の勇気が必要です。勇気を持った人々が、チエルノブイリの真実を話す機会がもっと増えるべきでしょう。そのような人々の努力によつて、真実が少しずつ伝えられます。チエルノブイリというこの世界を変えてしまう出来事、人間にとつて世界を変えてしまう出来事が同時に起こった中で、皆さんがなさっているような各国からの救援に、私はとても感謝しています。

自分たちに起こった事を理解しようとするときに、科学とか数学、物理が人間の力になるのではなく、ただ一つの全き言葉、「人間の愛」がこれからの人たちの拠り所になっていくだろう、と私は本の中で書こうとしました。

## ◆アンケートから◆

ス ペトラーナ・アレクシエービツ  
チさんのチエルノブイリをめぐる

洞察は、21世紀の人類のあり方の根源的なものにかかわっています。万物の霊長の座から転落した人類が、自らのつくり出した自然の異変に未来永劫報復を受けることになるという言葉は、私の心に重く響きました。そして、それでもなお、人間の希望を愛や子供たちのまなざしに求めるといふアレクシエービツさんの言葉に、私は心から感銘を受けました。

そして、彼女の哲学の核心を見事に舞台化したのが神田香織さんの講演でした。言葉とまなざしにこれほどの迫力をもった俳優には滅多に出会えません。現代の名優だと私は思いました。すばらしい一晚をくださったJCFに心から感謝します。

小川 幸司 (37歳)



フィナーレでアレクシエービツさんと神田さんに花束を贈呈

アレクシエービツさんの生の声を聞かせていただけたという本当に貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。

短い時間ではありましたが、ご本人のその場での生の声、生の思いを自分の耳でとらえることができるという体験は滅多にないでしょう。このような

機会は、難しいとは思いますが、是非とも増やしていただきたいと思います。思います。

また、神田さんの講演も、さすが、すばらしいものでした。一字一句聞き逃すことのできない、絶妙な語り口に、心をすいこまれてしまいました。

心の中にストンと入ってきて、涙が止まらず、その場に今、自分の存在があるかのように、始まりから終わりまで、時のたつのが全く感じられませんでした。講演というジャンルを超えて『伝えたい』という思いがひしひしと伝わり、『ああ、このような表現方法もあるのだな…』と新しい発見を得られました。本当にありがとうございました。機会がありましたら、もう一度拝見させていただきます。

豊原 彩香 (16歳)